

平成28年11月放送総局長定例記者会見要旨

○2019年大河ドラマの企画決定について（木田放送総局長）

2019年第58作目の大河ドラマは、日本とオリンピックの関わりを題材にした企画で制作することに決まった。オリジナル脚本を宮藤官九郎さんに執筆していただく。日本人が初めて参加した1912年のストックホルム大会から1964年の東京オリンピックが実現するまでの約50年を描く。詳しい内容や主役、タイトルなどは決まり次第、順次発表する。

（詳細は報道資料を参照）

○年末年始の特集番組について（木田総局長）

総合テレビは、家族や友達とわいわい過ごしたり、1年をじっくり振り返ったりといろいろな気持ちがあふれる時期にふさわしい多彩な番組をそろえた。12月19日は「クローズアップ現代+」のスペシャル版。21日は北野武さんの原点に迫るファミリーヒストリースペシャルや、ナレーションによる説明なしでインタビューを大切に描くドキュメンタリー番組「VOICE」などを放送。また年明け1月2日に正月時代劇「陽炎の辻・完結編」、3日にドラマ「富士ファミリー2017」を放送。

Eテレでは、12月30日に「カラフル！スペシャル わたしの馬は与那国馬」。大みそかの深夜には「日曜美術館40周年特集“ゆく美くる美”2016」。1月3日には金沢の古民家カフェを舞台にかつての町の姿をよみがえらせるドラマ「ふるカフェ系ハルさんの休日 正月SP」を放送。

BS1では、12月24日に「王座は渡さない！超絶ブレイクダンス世界一決戦」。元日には、「COOL JAPAN 新春特集 世界が驚いたニッポン」。1月3日に「デナリ～究極のスキー滑降に挑む」を放送。またBSプレミアムでは、12月16日に「あなたに贈る！クリスマスソング・セレクション」。18日に「生放送！未来はこうなっちゃうんじゃないのTV」。元日には、「明治維新150年の新春特別企画『江戸城無血開城』」。3日には「大岡越前スペシャル」をお送りする。

そしてラジオ第1では、12月30日に「ヒットチャートじゃわからない J-POPバイヤーズチェック2016年末スペシャル」。1月2日にラジオコメディ「シワ・ハウス」お正月編を放送。またFMでは、12月24日に「アニソン・アカデミースペシャル～冬休みっ！ライブ！ライブ！ライブ！」を放送する。

（詳細は報道資料を参照）

○NHKスペシャル「ドラマ東京裁判～人は戦争を裁けるか～」（木田総局長）

12月12日から4夜連続で国際共同制作の「ドラマ 東京裁判～人は戦争を裁けるか～」を放送する。70年余り前、判事たちがそれまで合法とされていた戦争が犯罪なのかという根源的な問いに対して議論を闘わせた「東京裁判」について、NHKは世界各地を取材し、判事たちの文書や手記、証言を入手。今なお戦争のやまない世界へのメッセージとしてこのドラマを広く世界の視聴者に見ていただくため、カナダ、オランダのプロダクションと共同で制作する国際共同制作とした。また国内での放送とほぼ同じ時期に、ネットフリックスが20の言語で世界に配信するなど、国際展開を行うと聞いている。なお、NHKは今回、ネットフリックスと共同制作するわけではなく、両者の間に契約は存在しない。NHKと共同制作するのは、あくまでオランダとカナダのプロダクションであり、ネットフリックスがカナダのプロダクションに配信権を得たいと申し出たため、配信することになったもの。

（詳細は報道資料を参照）

○「おんな城主 直虎」音楽決定とタイトル映像完成（木田総局長）

来年の大河ドラマの音楽を担当するのは、震災復興支援ソング「花は咲く」を作曲した菅野よう子さん。テーマ音楽の指揮は、去年NHK交響楽団の首席指揮者に就任したパーヴォ・ヤルヴィさん。ピアノ演奏はラン・ランさん。また本編後の「大河ドラマ紀行」の演奏は、ヴァイオリニストの五嶋みどりさんが担当する。そしてタイトル映像は、アートディレクターの古屋遙さんが「戦う花」をテーマに制作した。力強く生き延びる主人公の姿を、しぶとく種を残して、また花を咲かせる「戦う花」に託した作品。

（詳細は報道資料を参照）

○<BS1>東京オリンピック・パラリンピック関連番組（安齋副総局長）

元日の夜10時から「ふたりのKosuke（こうすけ）」を放送する。日本競泳陣のエースとして、アテネと北京のオリンピックで4つの金メダルを獲得し、今年4月に引退した北島康介さん。一方、次期エースになるべく練習を積んできた萩野公介選手は、リオデジャネイロオリンピックで3つのメダルを取り大活躍した。「エース」とはどんな存在で、何を背負っていくのか。リオオリンピック前後の二人の関わりあいと、これまでの戦いを振り返りつつ、次世代に引き継がれ、東京オリンピックにつながる「エースの魂」とは何かを探っていく。その他、12月4日放送の「東京オリパラ団」では「大分国際車いすマラソン」に密着し、車いすマラソンの魅力に迫る。12月18日の「世界はTokyoをめざす」は、リオオリンピック男子つり輪の金メダリスト、ギリシャのエレフテリオス・ペトロニアス選手が東京オリンピックに向けて奮闘する姿を描く。

（詳細は報道資料を参照）

○<総合>NHKスペシャル「プラネットアースⅡ」（安齋副総局長）

NHKとBBCが共同で制作し、誰も見たことのない地球の素顔や生き物たちの営みを極上の映像で描き、大きな反響を呼んだ「プラネットアース」から10年。12月に新シリーズがスタートする。「天空からの目線」だけでなく、さまざまな環境の中で生き物はどのように生き抜いているのか、新たに「生き物の目線」でも世界各地を旅する。

12月23日には「プロローグ」を放送。「プラネットアース」ファンを自負するココリコ・田中直樹さんや動物写真家の岩合光昭さんをスタジオに招き、前シリーズの名シーンや、今回導入した最先端の撮影技術などを紹介する。12月25日放送の第1集は「生命のサバイバル」をテーマに、生き物たちが過酷な環境をどのようにして生き抜いているのかを紹介。2017年に第2集・第3集の放送を予定している。

（詳細は報道資料を参照）

○<BS P>シリーズ 知られざる古代文明（安齋副総局長）

新しい科学技術の投入により、謎に包まれてきた古代文明の新事実が次々と明らかになっている。

12月3日放送の「発見！ナスカ・大地に隠された未知なる地上絵」では、俳優の佐藤健さんがペルーのナスカを訪ね、日本の研究チームが高性能レーザーを駆使して明らかにした未知の地上絵や地上絵の歴史、知られざる役割についてレポートする。10日放送「発見！マヤ・密林に隠されたピラミッドと謎の石舞台」では、中央アメリカの密林に眠っていた遺跡の現地調査に佐藤さんが同行しマヤ文明盛衰のドラマに迫る。17日放送の「天空の秘密都市マチュピチュ すべての謎を徹底追及」では、最新研究と現地の神秘的な映像で、都市誕生からインカ滅亡までをダイナミックに描く。

（詳細は報道資料を参照）